

CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会第3回通常総会報告	1	● MIDI規格委員会 Web MIDI WG 報告	6
● 新役員紹介	2	● CDC設立5周年記念レセプション報告	7
● 役員名簿・組織図	3	● AMEI 会員名簿・MIDI 検定1級試験実施のお知らせ・	
● 平成26年度事業計画	4~5	第3回通常総会議事録の開示について	8

## 一般社団法人音楽電子事業協会 第3回通常総会報告



長谷川 豊 新会長

平成26年5月15日、平成26年度第1回理事会に引き続き、一般社団法人音楽電子事業協会第3回通常総会が午後4時から東京飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントにて開催されました。総会に先立ち、岡部比呂男会長より「本年は消費税UPに始まり、ウクライナ情勢や米国の株安等の国際情勢がダイレクトに日本企業の株価に影響する等、経済面からも地球がさらに小さくなった。当協会の事業もMIDI規格の国際標準化事業については今年度中の決着を目標として進めてまいりたい。また著作権等においても国境を越えた問題に対峙しなくてはならない時代になった。こうした環境の中では、自分たちが自ら動いて問題を解決するしかないとの決意で、業界の発展を通して社会へ貢献してまいりたい。」との表明がありました。続いて、事務局から定足数(正会員42社に対し、出席25名、委任状12通)が発表され、総会の成立が報告されました。定款に基づき岡部会長が議長となり、議事録署名人2名(カシオ計算機株式会社 安藤 仁様、株式会社鈴木楽器製作所 鈴木 周司 様)が選任され、議案審議に移りました。

1号議案「平成25年度事業報告承認の件」、2号議案「平成25年度収支決算承認の件、及び監査の報告」がそれぞれ審議・承認され、3号議案「平成26年度役員選任の件」では、現理事/監事及び幹事の2年間の任期が満了となり、定款に基づき理事及び監事の選任を行った結果、再任理事8名、再任監事2名と新任理事として、長谷川 豊様、矢崎 一臣様の2名の選任が全員一致で承認されました。通常総会はこちらで一時休会し、この間に、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任、及び幹事構成員の選任を行う為、総会にて承認された理事による臨時理事会が別室で開催されました。15分の休会后、総会が再開され、臨時理事会の結果が袴運営委員長より報告され、新会長として長谷川 豊様の挨拶があり、新任理事 矢崎 一臣様と新任幹事 鹿島 直道様・渡辺 省吾様が紹介されました。

次に長谷川会長が議長となり、4号議案「平成26年度事業計画(案)審議決定の件」、5号議案「平成26年度収支予算(案)審議承認の件」がそれぞれ審議/承認され、最後に議長より議事進行についての協力を謝し、第3回通常総会は終了しました。

続いて午後6時から「通常総会懇親会」が開催され、主催者長谷川会長の挨拶の後、ご来賓の経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 課長補佐 望月 孝洋様、文化庁長官官房著作権課著作物流通推進室長 井上 敏昭様からのご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会常任理事 大橋 健三様の乾杯のご発声により、賑やかに懇親会が始まりました。席上、3期5年勤められた岡部会長の退任にあたり、感謝状と記念品の贈呈が行われました。会はその後も盛り上がりましたが、三木康司監事の中締めの後、午後8時過ぎ散会いたしました。



経済産業省商務情報政策局  
文化情報関連産業課  
課長補佐 望月 孝洋 様



文化庁長官官房著作権課  
著作物流通推進室  
室長 井上 敏昭 様



一般社団法人日本音楽著作  
権協会常任理事  
大橋 健三 様



三木 康司 監事

# 新任役員挨拶

## 新会長

ヤマハ株式会社 上席執行役員  
楽器・音響開発本部長 長谷川 豊

去る5月15日に開催された一般社団法人音楽電子事業協会（以下、AMEI）の第3回通常総会において、第5代会長を務めることになりました。この紙面をお借りして、会員の皆様、そして経済産業省をはじめ平素より当協会をご支援くださっている皆様方にご挨拶申し上げます。



簡単に自己紹介をしますと、私自身メーカーの中で電子音源の普及や研究開発、新規事業開拓においてMIDIやコンテンツと長く関わって参りました。とはいえ、AMEI会員の皆様の専門性や幅広い領域をカバーできるものではなく、まずは皆様のご協力をいただき、またお知恵を拝借しながら一日も早く当協会の活動と発展に貢献できるよう尽力していきたいと思っています。

協会を取り巻く環境は大きく変化しており、なかでもデジタルネットワークの進展とグローバル化は私たちの事業を大きく変えていくドライバーとなっています。消費者動向に目を転じてみますと、スマートフォンの爆発的普及に見られるように、人々のライフスタイルが変化し、音楽の楽しみ方も大きく変わってきました。いまやメーカーによる製品・サービスの受容性をソーシャルメディアによる評判を通して個人やコミュニティが大きく左右しています。さらに消費者は、同時に情報を生み出す生産者としての役割も兼ね備え、簡単に音楽などのメディアコンテンツを制作、公開し、オンラインで流通させることができるようになりました。世界の市場は新興国の発展によりグローバル化が加速しており、各国で進む都市化の進展は膨大な新たな中間層を生み出しています。それらに対応すべく企業のグローバル化も進んでおり、製造業においても中韓をはじめとする新興勢力が急伸しています。

こうした中、先代の岡部会長がリーダーシップを発揮して進められた一般社団法人への移行により当協会はフルロットルで各課題に取り組むことができる体制になっていると認識しています。MIDIの国際標準化の推進や、新たなコンテンツや配信ネットワークがもたらす知的財産の扱いなどに関する調査研究において、国内で、またグローバルレベルで当協会がはたすべき主導的役割は大変大きいものと思います。会員の皆様方におかれましては、こうした課題を共有いただくとともに、取り組むべき新たなテーマをご呈示、共有いただき、協会全体で業界の発展と課題の解決にあたっていきたいと思っています。私自身も微力ながらスピード感を持って貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## 新任理事

株式会社フェイス 取締役 矢崎 一臣

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、当協会の理事に就任させて頂くことになりましたので、ここに謹んでご挨拶を申し上げます。

弊社は、設立時より音楽ビジネスを中心に、日々進歩するネットワークおよび多様化するデバイスに、最



適なコンテンツ配信のしくみ創りに取り組んで参りました。

今後も音楽の新しい届け方、新しいサービスをプラットフォーム化し提供していく上で、AMEIの活動、果たす役割は音楽電子事業の加速のため益々重要になってくるものと改めて強く感じております。

微力ではございますが、AMEIの活動を通し音楽電子事業のさらなる発展に貢献すべく努力して参る所存でございます。

今後とも会員の皆様のご指導ご支援の程、よろしく申し上げます。

## 新任幹事

株式会社ダウンゴモバイル  
編成制作部部长 鹿島 直道

AMEIの会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、幹事に就任させて頂くことになりましたので、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

弊社ではモバイル向け音楽配信を中心に様々なモバイルコンテンツ配信サービスに取り組んで参りました。昨今のスマートフォンの急速な普及により我々の事業環境も目まぐるしい変化を続けておりますが、そのなかで新たなコンテンツ・市場の創出を目指し取り組んでいる次第であります。

AMEIでの活動を通して今後の音楽業界、コンテンツ業界の更なる発展に微力ながら尽力させて頂く所存でございますので、会員の皆様のご指導ご鞭撻の程をよろしく申し上げます。



## 新任幹事

学校法人尚美学園  
専務理事・法人本部長 渡辺 省吾

平成26年度より、幹事に就任させて頂きいただきました、学校法人尚美学園の渡辺です。

本学園は、古くからMIDI、電子音楽、電子音楽コンテンツ制作、電子音楽楽器演奏、電子音楽配信、電子音楽事業、音楽著作権、知的財産権、マルチメディアコンテンツ制作等の研究、教育、人材育成に力を注いでまいりました。

現在、音楽電子に関連する学科としては、尚美学園大学に情報表現学科、音楽応用学科があり、尚美ミュージックカレッジ専門学校にアレンジ・作曲学科、電子オルガン学科、音響・映像学科、ミュージックビジネス学科、エンタテインメントビジネス創造学科があります。

多様化する情報・音楽メディアの分野において、ハードの研究、ソフトの研究も必要ですが、本学園は、次世代の情報・音楽ビジネスをプロデュース、クリエイトできる新しい感覚のアートウェアの創造者の育成を目指しています。

今般、協会に参加させていただき、協会関連の企業の方達から最先端の技術・知識等をご教示いただき、それを本学園の教育に反映することにより、音楽電子関連の企業、研究機関、業界、メディアを楽しむ人達等に貢献できる人材の育成に努めてまいりたいと存じます。



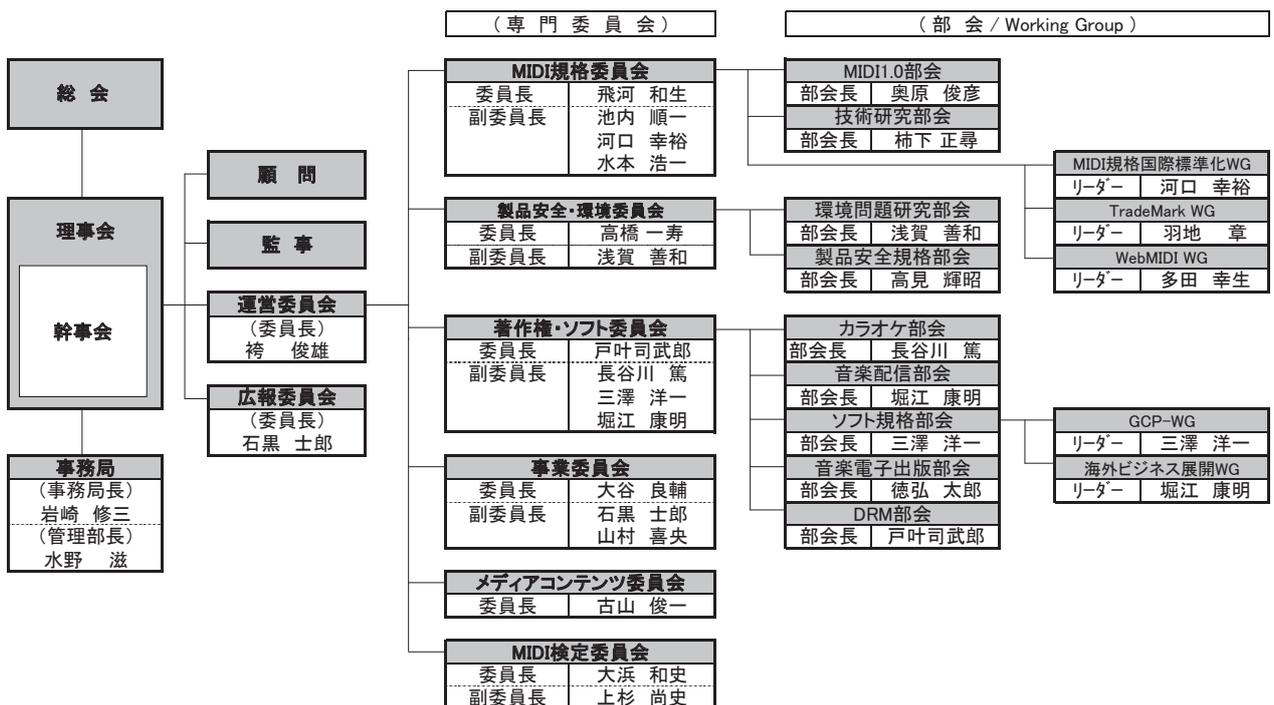
# 平成26年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会役職	氏名	会社名	所属部署名
会 長	長谷川 豊	ヤマハ株式会社	上席執行役員 楽器・音響開発本部長
副 会 長	佐々木 隆一	株式会社エムティーアイ	取締役
〃	柳瀬 和也	ローランド株式会社	取締役
〃	和田 康孝	株式会社第一興商	常務取締役 兼 上席執行役員
専務理事	岩崎 修三	一般社団法人 音楽電子事業協会	専務理事
常務理事	袴 俊雄	JVCネットワークス株式会社	顧問
理 事	安藤 仁	カシオ計算機株式会社	コンシューマ事業部 第四開発部 部長
〃	小林 誠	株式会社コルグ	取締役開発第一部部长
〃	矢崎 一臣	株式会社フェイス	取締役
〃	吉田 篤司	株式会社エクシング	代表取締役社長
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
幹 事	大浜 和史	日本シンセサイザー・プログラマー協会	代表理事
〃	鹿島 直道	株式会社ドワンゴモバイル	編成制作部部长
〃	小林 献一	Apple Japan 合同会社	政務部部长
〃	島村 元紹	島村楽器株式会社	代表取締役会長
〃	鈴木 周司	株式会社鈴木楽器製作所	取締役
〃	須田 直治	株式会社ヤマハミュージックメディア	代表取締役社長
〃	英 裕治	ティアック株式会社	代表取締役社長
〃	箕輪 匡文	株式会社河合楽器製作所	電子楽器事業部長
〃	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
〃	渡辺 省吾	学校法人 尚美学園	専務理事
顧 問	梯 郁太郎		
〃	加藤 博万		
〃	日吉 昭夫		

\* 敬称略・50音順

# 一般社団法人音楽電子事業協会 平成26年度組織図

\* 敬称略順不同



# 一般社団法人音楽電子事業協会 平成26年度事業計画 委員会活動

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

## 1 全体

運営委員会に設置した公益法人制度改革対応WGは、平成24年4月1日一般社団法人へ移行後も引き続き公益目的財産額が零になるまで協会運営について継続する。

## 2 製品安全・環境委員会

### 〈活動方針〉

ふたつの専門部会（製品安全規格部会および環境問題研究部会）での情報交換、法規制からの要求事項に対する解釈のレベルあわせのための活動を継続し、電子電気楽器および関連機器の安全性確保・環境問題への対応推進を図る。

### ●安全規格部会

#### (1) 安全規格

- ・電気用品安全法省令、基準、性能規定化動向調査
- ・国際規格の動向調査
- ・北米規格の動向調査
- ・欧州規格の動向調査
- ・中国、韓国、台湾、バルト3国（EAC）、  
その他各国の動向調査

#### (2) EMC

- ・各国 EMC 規制の動向調査

#### (3) その他

- ・各国の省エネルギー制度の動向調査
- ・各国の電波法・無線規制の動向調査
- ・PL 関連情報の提供と交換

### ●環境問題研究部会

#### (1) 国内外の環境に関する法・規制等の動向調査及び 情報交換

- ・資源有効利用促進法関連
- ・容器包装リサイクル法関連
- ・省エネ法関連
- ・欧州 WEEE、RoHS 関連
- ・欧州 REACH、ErP 関連
- ・中国法規制関連
- ・韓国の法規制関連
- ・米国の法規制関連

など

#### (2) 法・規制対応に関する意見交換等の実施

各社の法・規制対応に関する意見交換会の実施

#### (3) 環境法規制に関する情報共有化セミナーの実施

予定：RoHS2 又は ErP 改正対応について

### ●外部委員会への参加

- ・電気用品調査委員会電波雑音部会
- ・JEITA EMC 委員会 マルチメディア EMC 専門委員会
- ・JBMA TC108 委員会
- ・電気製品認証協議会

## 3 MIDI 規格委員会

### 〈活動方針〉

MIDI のユーザメリットを維持し、多分野にわたる MIDI のハード・ソフト・コンテンツ市場の保護・育成を図る。

新しい市場に向けたテーマの推進と将来の音楽事業発展に貢献する。

### 〈事業計画〉

- ・MIDI1.0 規格 RP・C/A の検討並びに提案
- ・IEC における MIDI 国際標準化の推進
- ・MIDI ならびに GM の商標保護と商標活用
- ・HD プロトコルの検討
- ・W3C webMIDI API /webAudio API の検討
- ・電子楽譜記述言語の標準化検討
- ・無線 MIDI 伝送の技術検討
- ・楽器フェア 2014 MIDI 関連検討
- ・MIDI 開発者のための情報交換の仕組みの検討

### ●MIDI1.0 部会

- ・RP・C/A の提案を受けて、部会開催を予定。

### ●技術研究部会

- ・HD プロトコルに関する技術リサーチ
- ・技術 / 新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを模索する
- ・WebMIDI-WG の推進運営
- ・電子楽譜記述言語の標準化検討（Music XML など）
- ・USB, AVB, TCP/IP, ワイヤレス等、5pinDIN 以外の伝送路における MIDI の評価、検討
- ・Bluetooth LE上でのワイヤレス MIDI 伝送の技術検討

### ●MIDI 国際標準化 WG

MMA との国際的連携のもと、MIDI 規格を IEC TC-100 にて国際標準化

### ●トレードマーク WG

- ・MIDI ならびに GM の商標保護と商標活用
- ・中国での MIDI/GM 商標取得の可能性の調査検討

### ●Web MIDI WG

W3C WebMIDI API の技術検討・情報収集、ハッカソン協賛、各種講演デモ、キャラクタ活用、Music XML の電子楽譜記述言語としての技術検討、web 関連技術の検討

## 4 著作権・ソフト委員会

### 〈活動方針〉

1. 著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点等を解決すべく関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望を活発に行う。又、様々な変化の中で新しい問題に対し制度疲弊を起こしていると考えられる部分には、関係省庁、権利者、管理事業者等に積極的に発信していく。

2. 定例会を通じ各部会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

#### ●カラオケ部会

1. JASRACと協議及び勉強会
  - ・ 使用料規定の第10章「業務用通信カラオケ」の協議継続（2案件）
  - ・ カラオケの曲間を使用した情報等の扱いについて協議
  - ・ 海外における業務用通信カラオケの権利処理について勉強会継続
2. イーライセンス社と「業務用通信カラオケ」に関する協議継続

#### ●音楽配信部会

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を定例会の場にて実施すると共にNMRCを通じて管理事業者との協議、関連団体との意見交換に反映させる。
2. 実務上の問題点解決に向け、NMRC実務WG及びNMRC拡大実務WGを通じ管理事業者、関連団体との協議、共同作業、意見交換を行う。

#### ●ソフト規格部会

1. MIDI及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施。
  - ・ クラウドと音楽ビジネスの研究
  - ・ 「シンクロコンテンツ」に関する調査研究
  - ・ カルチャーセンター内での音楽著作物演奏使用料にかかわるJASRAC規程の検討
2. ワーキンググループによる諸問題の討議、検討、規格化と実践
  - ・ 楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討WG(GCP-WG)
  - ・ 海外での音楽著作物利用に関する効率的な許諾獲得手法の調査研究
3. その他、規格に関する問題、課題等の検討

#### ●音楽電子出版部会

1. 電子出版において、楽譜コンテンツビジネスに最適なフォーマット仕様、技術仕様の調査研究と、関連業界に情報発信を行う。
2. NMRC・DMN (Digital Music Notation) -WGとして管理事業者との協議、関連団体との意見交換
3. 電子楽譜の国際標準化調査レポート作成を支援

#### ●DRM部会

1. ユーザーの利便性を高めるDRMを活用することでCPビジネスの新しい市場が広がるかどうかを検討する。
  - ・ コンテンツ許諾コードシステム (IEC国際標準) についても調査検討する。
2. MIDIsignの実証実験 随時
  - ・ MIDIsignおよびISMC管理ツールの実用上の問題点をチェックする。
3. 技術WGの設置
  - ・ DRMに関する様々な技術の調査と検討のとりまとめを行う。

#### ●その他

- ・ 管理事業法研究WG：関連利用者団体及び権利者団体（著作権管理団体）に見解及びコメントのヒアリング

を実施し、著作権管理事業法改正及びガイドラインの策定を目指し活動する。

- ・ 早稲田大学創造理工学部との連携講座を26年度も実施する。

## 5 メディアコンテンツ委員会

- ・ 事業委員会等関連委員会と協力し「楽器フェア2014」内容確認。セミナー企画。
- ・ 他委員会／部会などに共催イベント確認。
- ・ 上記の具体的実施計画策定、会員企業説明、運営一般実施。

## 6 MIDI検定委員会

### 〈事業計画〉

#### ●平成26年度MIDI検定試験

- 第6回MIDI検定1級試験 8月8日～8月18日
- 第17回MIDI検定3級試験 12月7日
- 第16回MIDI検定2級1次（筆記）試験 12月7日
- 第16回MIDI検定2級2次試験 2015年2月
- MIDI検定4級試験 随時
- 中国MIDI検定試験実施への協力

#### ●平成26年度MIDI検定指導者認定講座

- 4級指導者認定講座 5月（東京／大阪）
- 3級指導者認定講座 7月（東京／大阪）
- 2級指導者認定講座 9月（東京／大阪）

## 7 事業委員会

「2014楽器フェア」拡大委員会を通じ、AMEI企画案策定、実施。

AMEI他委員会などでのイベント実施計画あれば関連委員会と連携して協力を行う。

その他協賛イベントなどを実施の場合も、臨時委員会開催にて検討。

## 8 広報委員会

### 〈活動方針〉

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

### 〈事業計画〉

委員会（AMEI NEWS編集会議）3回、セキュリティ強化の為の検討会議 1回

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
  - ・ 年3回発行予定（4月、7月、12月）
2. ホームページの充実（事務局との連携により推進）
3. セキュリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）
  - ・ 個人情報保護対策の強化検討



# APPS JAPAN 2014 出展報告

Web MIDI WG リーダー 多田 幸生

6月11日-13日の3日間、幕張メッセにて開催された「APPS JAPAN 2014」というイベントに、AMEI Web MIDI WGのブースを出展いたしました。

## ◆ APPS JAPAN 2014とは？

例年この時期にInterop Tokyoというネットワーク機器に関する大きな展示会が幕張メッセで開催されており、およそ14万人の来場者が集まります。APPS JAPAN 2014は、このInterop Tokyoの併設イベントとして今年初めて開催された、スマートフォン・タブレットなどで動作するアプリケーションに特化したイベントです。特に近年はスマートフォン上のWebブラウザで動作するWebアプリケーションの重要性が高まっており、APPS JAPAN 2014でもこのようなWebアプリケーションに関する展示が多く見られました。

## ◆ AMEI ブース出展の目的

今回、AMEIは、World Wide Web Consortium (以下 W3C)による「Open Web Platform Corner」という展示の1つとしてブースを出させて頂きました。W3Cは、Open Web Platformという命題の下、あらゆる場面でWebが繋がる世界を実現するためにWeb技術仕様の策定やWebに関する情報の提供、技術開発の促進、新技術のプロトタイプ実装等に取り組んでいます。

今回、AMEI Web MIDI WGで規格策定・普及活動を進めているWeb MIDI APIの事例を紹介することを目的として、W3Cの展示に協力させていただきました。

## ◆ 出展内容

Web MIDI APIの実力が一般の方々にもよく伝わるような、3種類のデモを展示いたしました。

### [1] Drum player DonTATA (クリムゾンテクノロジー (株) 提供)

タブレット上のWebブラウザに表示されたドラムパッドを叩くと、その信号がMIDIとして人形(DonTATAくん)に送られ、実際にドラムを叩くというデモを行いました。

### [2] VJ Application (ローランド(株) 提供)

PCに接続したMIDIコントローラ(Roland TB-3)を操作すると、その操作に同期した映像をWebアプリケーションが生成するというデモを行いました。クオリティの高い映像をプロジェクトで投影することで、ブースの前を通りがかった方々が足を止めて映像に見入る姿が多く見られました。

### [3] Standard MIDI File Player (ヤマハ(株) 提供)

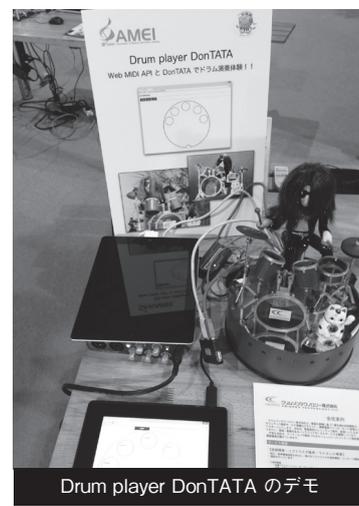
Webブラウザに実装されたSMF Playerを使って、既存のSMFコンテンツをUSBで接続された外部MIDI音源(ヤマハ製NSX-1)にて再生するデモを行いました。

いずれのデモも非常にインパクトがあり、技術的にも興味深いものであったため、Web MIDI APIの事例紹介として効果的であったと思います。

## ◆ 関係者の反応と今後の予定

「Open Web Platform Corner」を主催したW3Cの方からは、これまでW3Cが主催するイベントにおいて今回のようなエンターテインメント性に優れたデモ展示はあまり見られなかったこともあり、Webの新しい可能性を表現したという視点で大変高い評価を頂きました。また、来場されたお客様に対しては、これまでMIDIの存在をご存じなかった方々にMIDIを紹介できたという点で意義があったのではないかと思います。

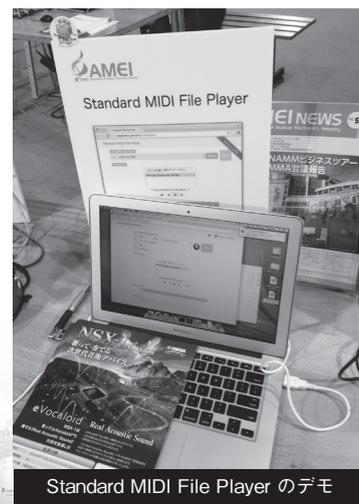
引き続き、W3C等が主催するWeb業界のイベントに協力していくことで、Web MIDI APIやMIDI規格そのものの普及に繋げていきたいと考えます。



Drum player DonTATA のデモ



VJ Application のデモ



Standard MIDI File Player のデモ



# CDC設立5周年記念レセプションが開催されました

一般社団法人 著作権情報集中処理機構 千葉 浩

一般社団法人著作権情報集中処理機構（以下、「CDC」）は本年3月に設立5周年を迎え、5月27日に学士会館（千代田区神田錦町）にて「CDC設立5周年記念レセプション」を開催いたしました。当日は来賓として知的財産戦略推進事務局、総務省、経済産業省および文化庁からご臨席頂いたのをはじめ、当法人顧問、配信事業者、管理事業者、報道関係、関係団体など合わせて160名を超える関係者の皆様にご出席賜り、CDC職員一同、誠に感謝いたしております。

CDCは、著作物等の利用者および権利者との連携の下に、著作物等の利用状況および権利関係に関する情報を収集・整理し、その成果を関係者に提供することによって、著作物の適正かつ円滑な利用を促進することを目的として2009年3月に設立されました。設立から約1年のシステム開発期間を経て、2010年4月には著作権情報の集中処理システム「Fluzo（フルゾ）」を本格稼働するとともに音楽著作権処理に係るサービスを開始し、サービス開始以来、Fluzoの利用は着実に増加しております。本年4月報告の実績としては、音楽配信に係る著作権処理の半数にあたる約1.7億件のデータがFluzoを介して処理が行われており、大規模音楽配信事業においてはFluzoの利用が欠かせないといっても過言ではない、という状況にまで至りました。利用者と権利者との共同による世界初の試みとして注目されたCDCの取組みは着実にその成果を上げています。Fluzoが実装する、①統合データベースによる権利関係の一元的把握、②フィンガープリント技術を活用した楽曲特定、③利用曲目報告の一括処理といった先進的な機能は、利用者の皆様から高い評価をいただき、更には、メドレー

等の複数の楽曲からなるコンテンツへの対応、管理事業者への報告データの直送機能など、Fluzoの普及による安定した財政基盤を背景に積極的な追加開発を行い、利用者の皆様のご要望に応じてまいりました。

また、2011年には、Fluzoの最大の特徴であるフィンガープリントによる楽曲特定技術を応用し、サーバ内に蓄積された楽曲の一括検索が可能な「Fluzo-S」の提供を開始いたしました。Fluzo-Sはいわゆるユーザ投稿サイトにおけるコンテンツのクローリングなど幅広く活用されており、関係する権利者諸団体からも推奨されております。これからもCDCは、安定したシステム運用と組織運営を堅持しつつ、音楽配信を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、より進化した著作権処理の仕組みの確立を目指します。また、デジタルコンテンツの円滑な流通を促進するために、CDCが培った技術や経験等の情報を適宜発信し共有するとともにその発展に貢献してまいりますので、AMEI会員企業様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人  
著作権情報集中処理機構  
佐々木 隆一 理事



一般社団法人  
著作権情報集中処理機構  
菅原 瑞夫 理事



内閣府知的財産戦略推進  
事務局  
局長：内山 俊一 様

## CDCの設立背景

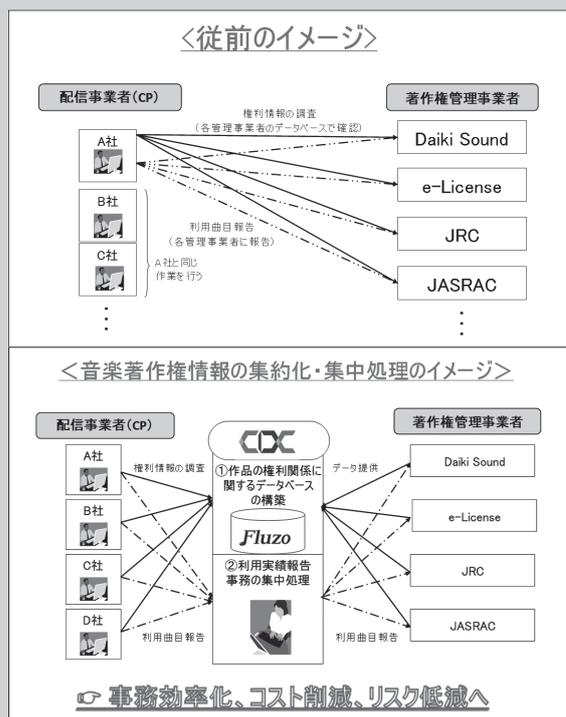
日本のデジタルコンテンツ流通は、iモードをはじめとしたモバイル配信システムが先導することで世界最大のデジタルコンテンツ配信市場を構築してきました。一方で、音楽配信においてはPCも100万曲を超える大規模品揃えによる配信プラットフォームが急成長しており、また、放送コンテンツの配信ビジネスへの転換も政府機関をはじめとした施策によって今後大きな拡大が予想されております。

そうした中で、音楽著作権処理については2001年に施行された著作権等管理事業法をベースとした複数の著作権団体と利用者代表との交渉により配信ビジネスに適合した著作権使用料規定が日々協議されることにより決定されています。その一方で、実務上の音楽著作物使用実績報告・請求システムは処理データ数の急拡大と各社が個別管理している多様な利用形態により処理能力の限界に達しつつあります。

これらを解消するため、権利者と利用者との間では大量な利用実績データを効率的に処理して権利者への分配に正確に反映するための方策や、包括請求使用料の管理団体比率の取り扱い等について2007年から具体的な検討・協議を重ねてまいりました。

これまで、民間のビジネスにおいても企業間の競争による市場拡大時にはオープンに利用出来る共通インフラとしての決済システムや流通システムが登場することで多くのプレイヤー参加による競争促進から市場の拡大を実現してきました。

デジタルコンテンツ配信におけるこれからの市場拡大を目指すため、著作権情報処理フローの再構築（CDPR：Copyright Data Process Re-engineering）を行い、コンテンツプロバイダー及び著作権管理団体双方の円滑な処理を推進するための共通インフラとして、一般社団法人 著作権情報集中処理機構を設立することとなりました。



東日本大震災、並びに福島第一原子力発電所事故により  
被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。  
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 会員名簿

50音順 2014年7月18日現在

<p><b>あ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Apple Japan 合同会社</li> <li>● 株式会社アムタス</li> </ul> <p><b>い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社インターネット</li> </ul> <p><b>え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社エクシング</li> <li>● 株式会社エムティーアイ</li> </ul> <p><b>か</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カシオ計算機株式会社</li> <li>● 株式会社河合楽器製作所</li> </ul> <p><b>く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリプトン・フューチャー・メディア株式会社</li> <li>● クリムゾンテクノロジー株式会社</li> </ul> <p><b>こ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社コルグ</li> </ul> <p><b>し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社シーミュージック</li> <li>● JVC ネットワークス株式会社</li> <li>● 島村楽器株式会社</li> <li>● 学校法人尚美学園</li> <li>● 株式会社シンクパワー</li> </ul> <p><b>す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社ズーム</li> <li>● 株式会社鈴木楽器製作所</li> <li>● 株式会社スリック</li> </ul>	<p><b>せ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セイコーインスツル株式会社</li> <li>● 株式会社セガ</li> </ul> <p><b>た</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社第一興商</li> <li>● 株式会社タムラ製作所</li> </ul> <p><b>て</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ティアック株式会社</li> </ul> <p><b>と</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東映ビデオ株式会社</li> <li>● 株式会社ドワンゴモバイル</li> </ul> <p><b>な</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ナクソス・ジャパン株式会社</li> </ul> <p><b>に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・ 日本工学院八王子専門学校</li> <li>● 一般社団法人 日本シンセサイザープログラマー協会</li> </ul> <p><b>は</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パイオニア株式会社</li> </ul> <p><b>ふ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社フェイス</li> <li>● 株式会社フェイス・ワンダワークス</li> <li>● 株式会社フットレック</li> </ul> <p><b>へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベスタクス株式会社</li> </ul>	<p><b>み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ミュージックノート株式会社</li> </ul> <p><b>や</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ヤマハ株式会社</li> <li>● 一般財団法人ヤマハ音楽振興会</li> <li>● 株式会社ヤマハミュージックメディア</li> </ul> <p><b>ら</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社ラグナヒルス</li> </ul> <p><b>り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社リットーミュージック</li> </ul> <p><b>ろ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ローランド株式会社</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈正会員会社 40 社〉</p> <p style="text-align: center;">* 賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中音公司 (中華人民共和国)</li> <li>● 株式会社博秀工芸</li> <li>● (有) 東京堀田制作集団</li> <li>● 株式会社ミュージックトレード社</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈賛助会員会社 4 社〉</p>
---	--	--



### MIDI 検 定 1 級 試 験 実 施 の お 知 ら せ

平成26年度

## 「MIDI検定」第6回

● ミュージッククリエイターのための認定制度

### MIDI検定1級試験

**〔試験期間〕 2014・8/8(金)～8/18(月)**

**申し込み 2014・7/4(金)～7/31(木)**

楽しさ音楽体感!  
～見る・聴く・弾く・買える!～

## 2014楽器フェア

musicfair.jp 東京ビッグサイト西1・2ホール

11月21日 10:00～22日 18:00・23日 10:00～17:00

一般社団法人音楽電子事業協会

## 第3回通常総会議事録の開示について

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/> の会員専用ページ

会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。お忘れの方はE-mailにて対応致します。

- 送付先: [amei\\_info@amei.or.jp](mailto:amei_info@amei.or.jp)
- お名前、E-mail アドレス、会社名、所属、TEL、FAX を記入の上、お申込み下さい。

AMEI NEWS Vol.54 / 2014.7.18  
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌  
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会  
 事務局  
 〒101-0061  
 東京都千代田区三崎町 2-16-9  
 イトービル 4F  
 TEL.03-5226-8550  
 FAX.03-5226-8549  
 発行人：岩崎修三  
 編集人：石黒士郎 (広報委員会)  
 編集協力：株式会社 博秀工芸  
 ホームページアドレス：  
<http://www.amei.or.jp/>